

平成25年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス

コード番号 2927 URL <http://www.ams-life.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 浅山雄彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長 (氏名) 白鳥弘之

TEL 054-281-5238

四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年8月期第1四半期の連結業績(平成24年9月1日～平成24年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第1四半期	3,664	△2.2	260	23.4	239	19.2	118	△8.4
24年8月期第1四半期	3,744	4.0	210	3.8	201	21.3	129	98.5

(注) 包括利益 25年8月期第1四半期 129百万円 (5.9%) 24年8月期第1四半期 122百万円 (85.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第1四半期	9.93	—
24年8月期第1四半期	10.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年8月期第1四半期	17,617	5,907	33.5
24年8月期	17,472	5,849	33.5

(参考) 自己資本 25年8月期第1四半期 5,907百万円 24年8月期 5,849百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年8月期	—	—	—	—	—
25年8月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年8月期の連結業績予想(平成24年9月1日～平成25年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,500	0.6	420	19.2	370	14.2	210	5.3	17.60
通期	15,000	1.4	900	26.5	800	18.7	430	△24.4	36.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年8月期1Q	12,189,720 株	24年8月期	12,189,720 株
② 期末自己株式数	25年8月期1Q	286,239 株	24年8月期	269,739 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年8月期1Q	11,917,768 株	24年8月期1Q	11,920,015 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信の添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成24年9月1日～平成24年11月30日)におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要を背景に緩やかな回復基調がみられたものの、欧州債務問題による海外経済の減速や円高の継続、国内の厳しい雇用情勢や所得環境による個人消費の低迷など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループが属する健康食品業界は、消費者の健康維持・増進、病気予防の観点から需要が高まっており、今後超高齢化社会を迎えるにあたり活躍の機会が更に増大するものと予測されます。

このような状況の下、当社グループはOEM部門においてダイエット商品を中心に順調に推移すると共に、海外部門でもアジア地域を中心に好調な業績を挙げたものの、市場をめぐる競争激化により直販部門が苦戦し、当第1四半期連結売上高は3,664百万円(前年同期比2.2%減)となりました。

損益面については効率的な広告宣伝活動に加え、新工場の減価償却費負担が軽減されたことなどにより、営業利益260百万円(前年同期比23.4%増)、経常利益239百万円(前年同期比19.2%増)となり、四半期純利益は法人税法の改正により税負担が増加したことで、118百万円(前年同期比8.4%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①ヘルスケア事業

・OEM部門

当社グループの主力事業であるOEM部門は、既存取引先からの受注堅調に加え、ダイエット商品の伸長などにより、売上高は前年同期比1.7%増となりました。引き続き、関節系、アイケア系、美容系の素材が好調に推移し、通販業関係先を中心に安定した売れ行きを示しております。また、営業担当の人材育成にも注力しているほか、生産部門においては放射能の風評被害防止のため検査体制の充実と運用の徹底を図り、国内外の顧客の安心と信頼性確保に努めました。

現在、ゼリー充填機(液体粘体自動充填機)の導入を準備しております。

・海外部門

アジア地域を主な取引先とする当部門は、長期化する円高、放射能汚染による検疫強化や風評被害など引き続き厳しい環境の下、主力商品であるコラーゲンドリンクの販売が好調を維持しており、新商品である馬プラセンタの販売も開始いたしました。また、香港および台湾での健康食品の売れ行きも好調に推移し、売上高は前年同期比48.2%増となりました。

・通信販売部門

人気商品のお試しサイズを商材としたTVショッピング・新聞広告を積極的に展開し、新規顧客の獲得は引き続き好調を維持しております。また、新商品の投入、リピート購入促進DMを実施するなど積極的な営業活動を行いました。個人消費の低迷、購入単価の低下などにより、売上高を伸ばすまでには至りませんでした。

当期の重点政策であります他社とタイアップした通販事業や、インターネット事業も順調に進捗しております。

・卸販売部門

前期に続き不採算商品の整理を行ったことにより、当部門全体では減収となりました。一方、利益率の改善のため進めているAFCブランド商品の拡販については、980円シリーズが前年同期比185.9%増と好調に推移したほか、定番商品も堅調な売れ行きとなりました。

競争が激化する中で、当部門では主力販売先である店舗販売業の特性に合った商品開発が必須であるため、当部門専用の新商品開発にも着手いたしました。

・店舗販売部門

百貨店テナント店舗を販売拠点とする当部門は、業界の低迷や今なお続く放射能汚染による国産ブランドへの不信感が影響する中で、前期より販売好調の飲料「国産野菜の極」は累計販売数100万本を越え、9月に姉妹品の飲料「国産トマトの極」を上市し好評を得るなど、新商品の投入も積極的に行いました。

また、本社店舗間の迅速な情報伝達ツールとして全店舗にiPadを導入し、より高度な販売体制の確立に取り組みましたが、自然食品の苦戦などにより前年同期に比べ減収となりました。

以上の結果、ヘルスケア事業の業績は、売上高3,310百万円(前年同期比1.1%減)、営業利益322百万円(前年同期比7.3%増)(全社費用調整前)となりました。

②医薬品事業

医薬品市場は、大別して医師の処方箋に基づき病院・診療所、調剤薬局で購入する医療用医薬品市場と、医師の処方箋が要らず、ドラッグストアで購入する一般用医薬品市場に分けられます。

医療用医薬品事業は、主力の製造承認を取得した医療用漢方製剤40品目について、医師、薬剤師及び医薬品卸の営業担当者に対して、品質・安全性の確保に対する取り組みのほか、同業他社の製品と比べ効能効果の同等性が極めて高いこと及び患者さんの経済的負担（医療費の自己負担）が小さいことなどを説明してきました。

また、一般用医薬品事業についても、新製品・リニューアル製品の投入、積極的な営業活動、及び販売促進活動などを行いました。特にドラッグストアの商品担当者に対して、当該製品の医療現場での臨床例などを中心に情報提供活動を展開してきました。

しかしながら、薬価改定による販売価格の低下の影響は大きく、売上高は354百万円（前年同期比10.8%減）となりました。一方損益面については経費の節減効果により、営業利益28百万円（前年同期比107.7%増）（全社費用調整前）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ152百万円増加し、8,477百万円となりました。この増加要因は主として、受取手形及び売掛金が156百万円減少した反面、現金及び預金が179百万円、仕掛品が72百万円増加したことによるものであります。

②固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ8百万円減少し、9,140百万円となりました。この減少要因は主として、製造機械の取得などにより有形固定資産のその他が65百万円増加した反面、償却により建物及び構築物が56百万円、のれんが18百万円減少したことによるものであります。

③流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ219百万円減少し、6,844百万円となりました。この減少要因は主として、支払手形及び買掛金が156百万円、流動負債のその他が115百万円、未払法人税等が72百万円増加した反面、短期借入金が596百万円減少したことによるものであります。

④固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ306百万円増加し、4,865百万円となりました。この増加要因は主として、長期借入金が328百万円増加したことによるものであります。

⑤純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ58百万円増加し、5,907百万円となりました。この増加要因は主として、四半期純利益の計上により利益剰余金が58百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月12日発表の平成25年8月期業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,054,042	4,233,996
受取手形及び売掛金	2,038,597	1,882,591
商品及び製品	910,225	925,333
仕掛品	523,523	596,046
原材料及び貯蔵品	631,038	658,343
その他	220,547	233,323
貸倒引当金	△53,459	△52,390
流動資産合計	8,324,515	8,477,244
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,444,718	3,388,167
土地	3,784,329	3,778,468
その他(純額)	1,128,162	1,193,900
有形固定資産合計	8,357,210	8,360,536
無形固定資産		
のれん	26,255	7,907
その他	65,677	62,678
無形固定資産合計	91,932	70,586
投資その他の資産		
その他	706,736	716,686
貸倒引当金	△7,521	△7,558
投資その他の資産合計	699,215	709,127
固定資産合計	9,148,358	9,140,250
資産合計	17,472,874	17,617,494
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,601,859	1,758,532
短期借入金	4,381,446	3,784,808
未払法人税等	65,291	138,147
賞与引当金	95,000	125,698
ポイント引当金	53,000	54,000
その他	867,566	983,125
流動負債合計	7,064,163	6,844,312
固定負債		
社債	550,000	550,000
長期借入金	2,667,283	2,995,634
役員退職慰労引当金	343,810	349,496
退職給付引当金	163,727	169,665

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
負ののれん	5,069	4,928
その他	829,610	795,798
固定負債合計	4,559,501	4,865,523
負債合計	11,623,665	11,709,835
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,405,498	1,405,498
資本剰余金	1,482,684	1,482,684
利益剰余金	3,219,468	3,278,264
自己株式	△198,961	△210,283
株主資本合計	5,908,690	5,956,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△59,481	△48,504
その他の包括利益累計額合計	△59,481	△48,504
純資産合計	5,849,209	5,907,659
負債純資産合計	17,472,874	17,617,494

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)
売上高	3,744,996	3,664,359
売上原価	2,498,722	2,476,396
売上総利益	1,246,274	1,187,962
販売費及び一般管理費	1,035,387	927,623
営業利益	210,886	260,338
営業外収益		
受取利息	42	22
受取配当金	818	1,883
負のれん償却額	9,462	140
助成金収入	2,767	7,446
貸倒引当金戻入額	6,127	—
その他	7,854	6,280
営業外収益合計	27,072	15,774
営業外費用		
支払利息	35,092	33,260
その他	1,521	2,900
営業外費用合計	36,613	36,160
経常利益	201,345	239,952
特別利益		
有価証券償還益	1,730	—
特別利益合計	1,730	—
特別損失		
固定資産除却損	2	1,042
減損損失	—	5,861
特別損失合計	2	6,903
税金等調整前四半期純利益	203,074	233,048
法人税、住民税及び事業税	82,437	131,378
法人税等調整額	△8,580	△16,725
法人税等合計	73,856	114,652
少数株主損益調整前四半期純利益	129,217	118,396
四半期純利益	129,217	118,396

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	129,217	118,396
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,096	10,976
その他の包括利益合計	△7,096	10,976
四半期包括利益	122,121	129,372
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122,121	129,372
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成23年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,348,048	396,947	3,744,996
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,348,048	396,947	3,744,996
セグメント利益	300,835	13,580	314,416

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	314,416
全社費用(注)	△103,529
四半期連結損益計算書の営業利益	210,886

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,310,284	354,074	3,664,359
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,310,284	354,074	3,664,359
セグメント利益	322,727	28,212	350,939

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	350,939
全社費用(注)	△90,601
四半期連結損益計算書の営業利益	260,338

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。